



Goodbye.
Perio Project

本気のプロジェクトだから、安心して活動できる！

仲野 藍子さん / 福岡県

昨年の九州デンタルショーで Goodbye Perio プロジェクトの存在を知った仲野藍子さん。メンバーになってまだ日は浅いですが、すでに歯科衛生士学校や親子向けのイベントなどいくつかの活動に参加しています。

そんな意欲的な仲野さんですが、実はメンバー登録する前は少し不安もあったのだとか。彼女が一步踏み出して活動に参加できたのは、どんなきっかけがあったのでしょうか？

歯科衛生士のことを考えたプロジェクトなのが伝わってきた

「歯周病罹患率を下げる活動をしている」。九州デンタルショーでそう聞いて興味が高まりました。長年歯周病専門の医院に勤めているので、予防法を広められるなら参加したかったです。

ただ、少し不安もありました。実は他にもいくつか「歯周病を撲滅させる！」というボランティア団体を知っていたのですが、どれも長続きしていないと聞いたことがあったんですよ。グッペリに対しても「フロスを売りたいだけなんじゃないか？」とか「カタチだけのプロジェクトかもしれない」と少し不安でした。

そこで、とりあえず家に帰ってからホームページを見ることに。すると、すごく惹かれることが書かれていました。「歯周病予防を伝えるべきなのは、歯科医院に来る患者さんだけではありません」。予防のプロフェッショナルが外に出て、フロスの必要性を伝えるべきです。読みながら「そうだよなあ」と何度か共感しました。それに、ホームページがピンク色でかわいらしいのもよかったです。歯科衛生士が好きそうなものを意識してつくってくれたんだろうなってわかったんですよ。全体を通して歯周病のことも歯科衛生士

のことも真剣に考えているのが伝わってきて安心できました。それからメンバーに登録して、活動にも参加するようになりました。

そんな小さな子にも教えるんだ！

実際に活動してみても、よりみなさんの真剣さを感じています。

たとえば親子向けのイベントに参加したときのこと。私は普段お子さんを診る機会が少なく、心のどこかで「フロスはある程度大人になってから始めればいい」と思っていました。それに大人の患者さんであってもフロスが難しい方方には導入として歯間ブラシを提案していた。でもメンバーはちがうですよ。みなさんお子さんにも



去年福岡の歯科衛生士学校でグッペリ特別授業の講師を行なった仲野さん。「今度は自分の母校に声をかけたい」と目標を語ってくれました。

しっかりフロスのやり方を教えるんです！」「こんな小さい子にも!?」って驚きましたけど、考えてみたらあたり前のこと。本当に歯周病を予防しようと思ったら「小さいから」「難しそうだから」なんて関係ないんですよ。歯肉縁下をケアするためにフロスを教えていかなくちやいけなかった。それができていないメンバーはやっぱり本気で歯周病予防に取り組んでいるんだなと実感しました。それから、は医院でもしっかり提案しています。

一般の方に歯周病のお話をするのはやりがいがありますし、意識の高いメンバーさんと意見を交換することでモチベーションも上がります。最初は躊躇していたけど、メンバーになって本当によかった。今はどんどん活動していきたいし、まずは身近な人から声をかけていこうと思います。